

ホームページ15年を振り返って

赤川 均 (昭和41年電気科卒)

<担当になった経緯>

東京秋工会の囲碁同好会に参加した縁で、同窓会役員になった。現役時代にコンピュータの経験があることからホームページ(以下、サイト)担当を依頼された。当時、東京秋工会のサイトは私より10年先輩のK氏が担当していたが、サイト運用をめぐる役員会と意見が対立していた。K氏はサイトにパスワードを設定し、会費納入者のみの閲覧に限定していた。一方で役員会は、会の活動などを公開すべきという方針であった。私に担当を任せるということで、サイト構築のためのプログラム言語「HTML入門書」を片手に役員会の方針に従い、パスワードなしでサイトを徐々に改修していたが、K氏からは手厳しい批評が寄せられた。その後、K氏は突然サイトを一方的に削除し、退会してしまった。振り出しに戻りサイトのサーバー契約からやり直すことになってしまった。

<ホームページの構築>

次第に思い通りのサイトを作成・運用できるようになった。同窓会のサイトとはいえ、インターネット上で不特定多数の目にさらされる以上、できる限り恥ずかしくないものを公開したいという思いがあった。2009年当時、東京秋工会の会員は皆元気で、活発な同好会活動や会報制作などにより、サイトに掲載する記事には事欠かなかった。



第6回釣り会レポート 金田湾(HP掲載から)

<サイト運営>

2011年頃から、男鹿市在住で秋工OBの船木政秋氏より頻りに記事が投稿されるようになった。私はこれを「なまはげ通信」と名付け、別メニューとして掲載させていただいた。関東在住者で構成される東京秋工会にとって、秋田からの情報はありがたく、船木氏の投稿は歓迎された。母校ラグビーや男鹿市のイベントなど、氏の思いが伝わる内容で、投稿記事はよく読まれた。

<レスポンス対応・セキュリティ対策>

サイト運営で最も苦労したことのひとつが、レスポンス対応であった。当初はパソコンでの閲覧が主であったが、次第にスマートフォンからの閲覧が増加した。パソコン画面は横長だが、スマホは縦長であるため、横長の画面を前提にした記事は、スマホではレイアウトが崩れてしまう。そのため、横長と縦長の両方の画面サイズに対応する必要があった。スマホで見やすくしないと「モバイルフレンドリー」でないとされ、Google検索で不利になる。こうした両対応を「レスポンス対応」と呼び、長期間にわたり、少しずつ過去の記事にも適用していったが多様な記事の対応には苦労した。

他にも懸案事項があった。当時のサイトURLは <http://akiko-tokyo-doso.main.jp> であった。httpの後にsがついていないサイトは通信の暗号化がなされておらず、2017年頃からブラウザで「危険なサイト」と表示されるようになった。余計なお世話と思った。

銀行や証券会社のようにセキュリティの必要なサイトではないが、ログオンIDやパスワードが盗まれサイトが悪用される危険はあった。自分が担当するサイトが「危険」と表示されるのも避けたかった。そのためには、サイトを新規ドメインに移し、暗号化(https化)を行う必要があった。

<WordPressへの移行>

セキュリティ対策の他に、もう一つ懸念があった。年齢を重ねるにつれ、自分がサイト運営を継続できなくなる日を想像するようになった。従来のHTMLでの構築は一定の経験を要するが、ネット社

の進展により、より簡単にサイトを構築できるツールが求められるようになった。WordPressはその流れに応じて普及し、2003年の公開以降、2011年には世界のサイトの13%、2024年には44%で使用されるに至った。

WordPressのメリットは、無料で利用でき、初心者でも簡単にサイトを構築できること。デザインや機能の拡張性も高く、SEO対策も行いやすい。また、利用者が多いため、情報やサポートも充実している。

東京秋工会のサイトも、2023年10月にWordPressで構築し、移行を完了。サーバー契約も別の会員に引き継がれた。新しいURLは <https://tokyo-akiko.com> と、ようやくhttps対応となった。

<WordPress移行後の実績>

Googleによるサイト評価によると、2024年4月1日～2025年3月31日の間に、東京秋工会サイトはGoogle検索だけで5,322回閲覧された。



最も多く検索されたキーワードは「東京秋工会」(254回)、次いで「柳原タケ」(98回)、「天国のあなたへ」(79回)、「秋田工業 駅伝 途中棄権」(63回)、「桜庭文男」(44回)などが続いた。

閲覧端末別では、モバイル3,966回、PC 1,272回、タブレット84回となっており、検索ではモバイルの利用が圧倒的である。

中でも、2009年8月に投稿した「天国のあなたへ」は、長年にわたり読まれている。これは秋田県二ツ井町が主催した1995年2月14日の「第1回日本一心のこもった恋文」大賞に輝いた柳原タケさん(当時80歳、秋田市在住)による、戦死

した夫を思う恋文である。この原稿は靖国神社の遊就館にも展示されており、時折りネットでも話題になるようだ。

<サイトの効用>

サイト担当者としての思い入れもあるが、その効用について述べてみたい。

同窓会サイトは、離れて暮らす同級生同士の情報交換を促し、絆を再び結び直す場として機能する。近況報告や会の活動紹介を通じて、参加者同士のつながりが自然に広がり、同窓会そのものの活性化にも寄与する。

また、これまで関わりの薄かった同窓生にも活動の様子が伝わることで、新たな参加者の呼び込みにもつながる。思い出を振り返るだけでなく、「今」と「これから」を共有するネットワークとして、同窓会サイトは重要な役割を担っている。

<今後の課題>

現在、サイトの後継者はまだ定まっておらず、この先の不安もある。会自体も会員の高齢化が進み、このままの形で継続が困難になる時期は遠くないと思われる。「自分の世代で終わらせたくない」という思いは共通するところである。

●HP掲載から 2024年地区会 写真

埼玉地区会



東京多摩地区会



株式会社 きのえ 甲 ARCHITECTURE・INTERIOR
設計事務所

〒010-0951 秋田市山王3丁目8-34 山王ツインビル4F
TEL. 018-866-2723 FAX. 018-866-2724
E-mail: kinoe@poplar.ocn.ne.jp

代表取締役/一級建築士 吉田谷 昭仁 (昭和48年建築科卒)



(公社)全国上下水道コンサルタント協会会員 / (公社)日本水道協会・下水道協会賛助会員

豊かな環境づくりのパートナー

株式会社 三木設計事務所

会長 草皆 次夫 (昭和51年土木科卒)

技術士(上下水道/総合技術監理部門)

〒010-0933 秋田市川元松丘町2番14号 TEL018-862-7331代 FAX018-823-7508

URL <https://www.mikisekkei.co.jp>